

2016.6.24

28年度 第1回 PTA 家庭教育学級

子どもの気になる行動と親のかかわり
～子育ては「いい 加減」～

校長 稲葉 実

○臨床心理学への関心

○広がる視野

○教育の間接性

○多様性・調和・豊かさ

○相対性の自覚

○クリエイティブ・イルネス

○その他 こぼれ話

育てる、学ぶ

園長 稲葉 実

今年も大変暑い日が続きましたが、皆様いかがお過ごしになられたでしょうか。地球の温暖化はいよいよもって深刻化の一途を辿っていること、嫌でも痛感させられる夏だったと思います。

それでも子どもたち、一段と逞しくなって、始業式に元気に登園してくれたこと大変嬉しく思っています

さてこの夏休み、切り抜いてはおいたのですが、放ったらかしのままでたまりにたまった新聞の記事を、少し時間があつたのでスクラップブックに整理しました。ひとつひとつまた改めて読み返したりするものですから、作業は遅々として進みませんでした。そのような中、特にまた考えさせられてしまったのが、「背中で伝承」暗黙知（「日本の知力」という読売新聞の特集）という記事でした。職人の世界の話です。すこし文章を拾ってみます。

まず、「基本は教えないこと」とあります。

そして、「必要なのは、本人が悟ること。身体の記憶として自分で身に付けること。作業で分からないことがあっても、悩み抜いた末の質問でなければ、答えを深く聞くことが出来ない。」と続きます。

まさに、「学ぶ」ということの原点はここにあるんですね。

さらに、「ものづくりの肝心な点はマニュアルや言葉では伝わらない。背中で教える、近くでずっと見るということが全てではないか」という指摘、確かにそのとおりでと思います。

「実は教える側も、教えてしまった方が目先は楽だ。教えないのは忍耐がいる。教えれば30分でできることが、放っておけば2日も3日もかかる。でも、教えてしまったら、弟子は教えられた範囲のことしかできない。それ以上を目指そうとは思わなくなる。」

これは大工の棟梁の弟子の育て方です。至言ですね。家庭での子育て、また幼稚園における教育のあり方と、簡単に重ねてみるわけにはいきませんが、しっかりと心に留めておきたいものです。

ところで北京オリンピック、様々な感動がありましたが、特に今回、好成績をおさめた選手が皆異口同音に、監督、コーチまた家族の支援や協力に感謝のことばを述べていたのが印象的でした。オリンピックに参加した選手全員、本当に厳しい練習を耐えてきたことでしょう。私たちにとってみれば特殊な世界ではありますが、一人一人の選手の姿から「学ぶ」あるいは「育てる」ということのその本質について、深く考えさせられる絶好のチャンスだったと、今回のオリンピックを捉えてもいいのではないかと思っています。

待つ

校長 稲葉 実

猛暑の夏でした。そして9月になっても厳しい残暑が続きました。天気予報を見てもずっと先まで最高気温は34℃～35℃、最低気温も27℃～28℃とあって、ため息をつくことの多い毎日でした。今年ほど秋が「待ち遠しく」感じられた年はありません。

さて、その「待つ」ということばですが、

待ち遠しい 待ち構える 待ち伏せる 待ちあぐねる 待ちぼうけ 待ち焦がれる
待ちわびる 待ちかねる 待ちくたびれる 待ち明かす 待ち暮らす 待ちに待つ 待ち
設ける等々、「待つ」の語尾にいろいろなことばが合わさって、微妙な意味合いを表すため
に、実にバラエティに富んだ展開を見せます。それだけ「待つ」という人の心の状態が、
とてもデリケートで複雑で、一様ではないということでしょうか。

メールの返信がすぐ来ないと、とても不安になってしまう若い人たちが増えている、と
いう新聞の記事を見ました。現代は待つことができない社会、待たなくてよい社会である
とも言われます。「待つ」ことの辛さから逃れるために文明は発達してきたとも、ある意味
で言えるかもしれません。しかし利便性の追究は、必ずしも人間の心を豊かにしてくれ
ません。

例えば新幹線の登場は、確かに私たちを「待つ」ことから解放してくれました。あつと
いう間に目的地に到着です。けれども昔のようにのんびりと車窓からの景色を眺め、旅情
に浸れるようなこともなくなりました。山間の横川の駅のあの情緒、釜めし、そして軽井
沢までの風景など、私は昔の信越本線がとても好きだったのですが、今はもう見られなく
なりとても残念だなあと、この夏改めて思いました。

さて教育の本質から言えば、「待つ」という行為や感覚は、決して避けて通れるものでは
ないと考えます。少々辛くても苦しくてもあせらずに、どれほど時間がかかっても子ども
の成長を見守る、という試練に耐えなければならないのではないのでしょうか。

小さい頃のことです。転んだ子どもを、すぐに抱き起こしません。辛いですね。でもそ
こでちょっと我慢して、「大丈夫よ。強い、強い。そう自分で立ってごらん。」

このように少しの「待つ」、ことを大切にしながら、子どもたちを育ててきたはずです。

育む（はぐくむ）とは、「いつくしみ守る」ことです。それは親鳥がひなを羽の下にだ
いて育てることです。その本質はやはり「待つ」なんですね。

深まる秋、「待てる」強さを持ち、充実した毎日を過ごしていきたいと思えます。

全校朝会（

○4/11（対面式）

3月・4月のこの春は、お別れと出会いのときです、校長先生も玉川小学校の子どもたちとお別れをして、少し寂しい思いでいましたが、山崎小学校の皆さんとの新たな出会いがあってとても嬉しいし、期待感でいっぱいです。そして56名の新1年生を迎えました。山崎小学校はひとつの家族です。1年間、みんな仲良く楽しく過ごしていきましょう。

○4/18

東日本大震災から5年、元の暮らしにもどれなくまだまだ大勢の人たちが苦しんでいる中、またしても大きな地震が熊本でありました。亡くなった方々のご冥福を心からお祈りしたいと思います。そして、おうちに戻れず困っている人たちに、何か私たちにできることはないか、みんな考えていきましょう。

また、大地震をはじめ大きな災害は、いつこの東京で起きても不思議ではありません。そのことをしっかりと心に刻んでおきましょう。こちらの都合のいいときに、災害が起こればいいとは限りません。一番、起きてほしくないときはいつか、そのことを考えて日頃から対策を考えておくこと、準備をしておくことが大事ですね。自分の命を、安全を守るのは最後は自分自身です。おうちの方と、こんな時は、あんな時は、と具体的に話し合っておきましょう。

○4/25

美しい日本語週間でした。どんなことばが美しいと皆さんは思いますか。

さて、今日はある6年生が書いた詩をひとつ紹介しますね。聞いてください。

僕は幸せ

お家にいられば幸せ

ごはんが食べられれば幸せ

空がきれいだと幸せ

みんなが幸せと思わないことも

幸せに思えるから

僕のまわりには

幸せがいっぱいあるんだよ

生まれつき重い病気があって、入院、退院をずっと繰り返し、そして残念ながら卒業式を迎えることなく亡くなった男が、病院の中での勉強で書いた詩です。

とても心に響く、美しい詩だなんて 校長先生は思います。もう一度聞いてください。

皆さんが美しいなって思う日本語、ぜひまた教えてください。



第1回家庭教育学級【ハートフルセミナー】報告

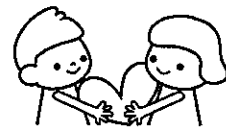
～家庭教育学級委員会より～

第1回ハートフルセミナーを6月24日(金)に無事終わることができました。ご講演いただきました稲葉校長先生、またご参加いただきました皆様に心より御礼申し上げます。

『子どもの気になる行動と親とのかかわり～子育ては「いい 加減」～』と題して、何点かのポイントをあげてお話しいただきました。

まず、校長先生の教育との出会い、心理学への興味と追求、教員としての教育=共育 体験などをお話しいただきました。そして、授業で教える直接的教育とは別の非意図的な教育(待つこと、教えないこと)も同じく大切であること「教育の間接性」、色々な子どもがいてそれぞれの良さをいかして調和をとること「多様性・調和・豊かさ」、絶対的な視点ではなく、色々なものの見方を教育にもいかすこと「相対性の自覚」、無病息災ではなく、一病あるくらいが頑張れること「クリエイティブ・イルネス」など、これまでの教員/校長としての経験、そしてご自身の子育てやご兄弟のお話を交え、ユーモアたっぷりのとても具体的でわかりやすいお話でした。

ご参加いただきました皆様には大変熱心に耳を傾けられ、アンケートでも、とても為になったというご意見を多数いただきました。今回参加できなかった方にも是非お伝えいただき、保護者の皆様の子育ての一助として頂ければ幸いです。

～校外委員会
より～

【通学路点検・北沢警察署管内地域連絡協議会情報交換会】報告

●6月13日(月)通学路点検を実施しました。

校長先生と役員の方々、地域の関係者の皆様と一緒に通学路の危険な道を確認しました。改善点の要望を後日、北沢警察署と世田谷警察署へ提出しました。

●6月22日(水)北沢警察署管内地域連絡協議会情報交換会に出席しました。(於:松原小学校)

今年度のテーマは『ルールが君を守ってくれる。知ってる?交通ルール。地域が君を守ってくれる。つながろう地域と!』です。警察署の方からは『青信号でも、運転者の目を見て安全確認を。子どもの高さの目線になって、道の安全を確認して』『毎朝一歩外まで見送って、ひとりずつの大人の目を、つなげて線にしていきましょう』など、お話しいただきました。危険を回避する力は、高学年であっても大人と同じではありません。交通ルールを守ることは、自分を守るということであることを親子で確認していただきたいと思います。

【パトロール班交流会】 報告

～校外委員会より～

●7月1日(金)パトロール班交流会を開催しました。(於:ランチルーム)

通学路で心配なことや、気になったことなどを話し合うとともに、交通・防犯についての確認や災害用伝言ダイヤル171体験、171に関連した公衆電話の情報などをお伝えしました。

また、東京都の各地域の犯罪発生情報や、犯罪を防ぐために必要な防犯情報を受け取れるメールサービス『メールけいしちょう』の紹介も行いました。「午前6時から午後9時までの間に北沢警察署と世田谷警察署から配信される『子どもに対する犯罪等』を受信」など選択が可能です。ぜひ登